1.1　動体検知アラームの設定

方法:

1. カメラ管理の動体検知インターフェイスを開き、動体検知を設定したいカメラを選択します。

   メニュー ＞ カメラ ＞ 動体検知

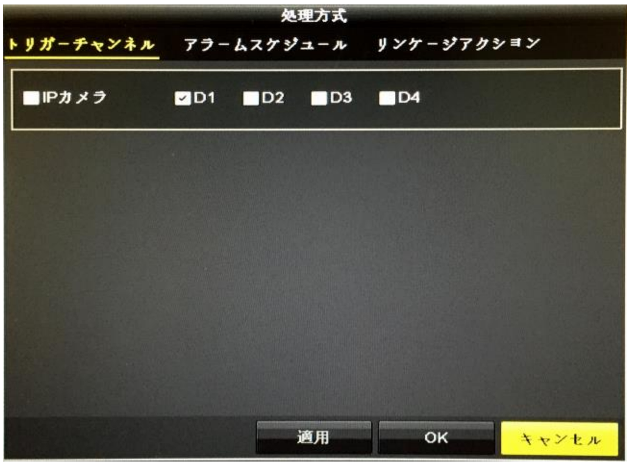
動体検知セットアップインターフェイス

2. 検知エリアと感度を設定します。

   「動体検知を有効化」にチェックを入れ、マウスで検知エリアを描き、感度バーをドラッグして感度を設定します。

   ボタンをクリックしてアラーム反応アクションを設定します。

3. **チャンネルを起動**タブをクリックして、動体アラーム起動時に録画/キャプチャを開始するか全画面モニターにしたい 1 つ以上のチャンネルを選択し、**適用**をクリックして設定を保存します。



4. チャンネルの警戒スケジュールを設定します。
   1) 警戒スケジュールタブを選択して、動体検知の処理アクションの警戒スケジュールを設定します。
   2) 週内の曜日をひとつ選択して、最大 8 つの時間帯を各曜日内に設定できます。

3) **適用**をクリックして設定を保存します

注記

時間帯を繰り返したり重複させたりできません。

動体検知の警戒スケジュールの設定

---

5. **処理方法**タブをクリックして動体アラームのアラーム反応アクションを設定します（音声警告のチェックを外すとレコーダーからの音声は出ません。メール送信のみの目的なら、メール送信だけにチェックを入れてください。）
6. 他のチャンネルに動体検知を設定したい場合、上記の手順を繰り返すか、動体検知インターフェイスの**コピー**をクリックするだけで、上記の設定をコピーできます。

1.1.1 E メールの設定

目的:

アラームイベントが検知された場合や、アラームや動体イベント検知時、管理者パスワード変更時などに、すべての指定したユーザーにEメール通知を送信するように設定できます。

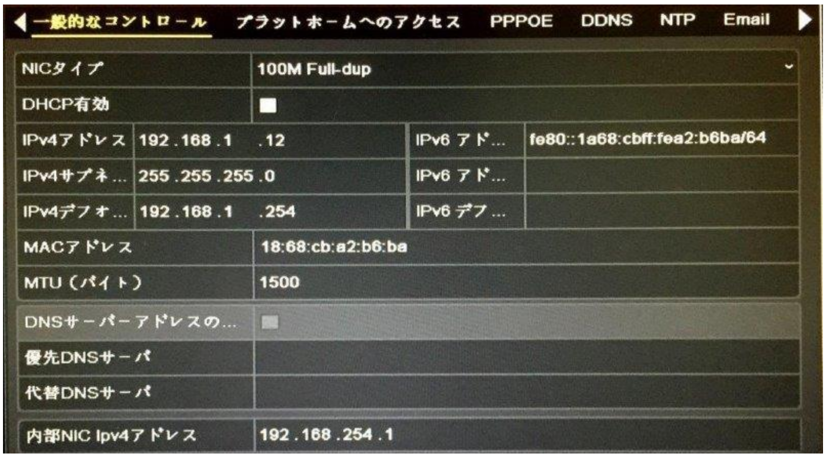
Eメール設定を行う前に、NVRがSMTPメールサーバーを管理するローカルエリアネットワーク（LAN）に接続されている必要があります。また、そのネットワークも、通知を送信したいEメールアカウントの場所に合わせたイントラネットやインターネットに接続されている必要があります。

方法:

1. ネットワーク設定インターフェイスを開きます。

メニュー ＞ 設定 ＞ ネットワーク

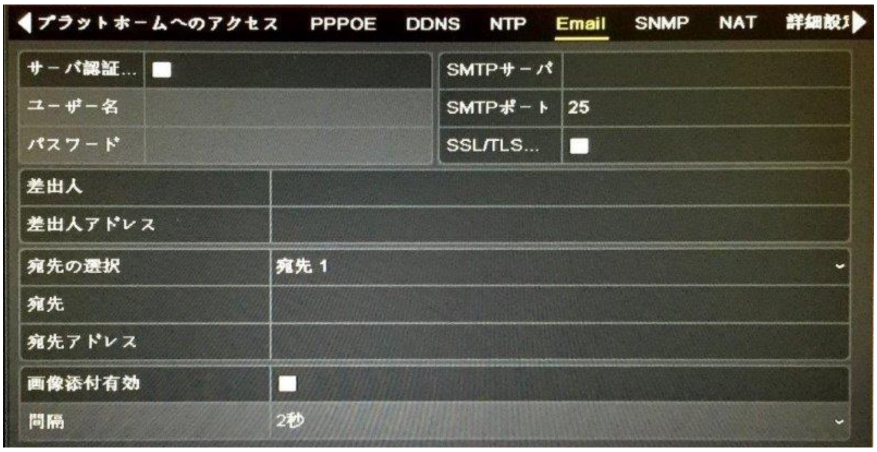
2. ネットワーク設定メニュー
3. IPv4 アドレス、IPv4 サブネットマスク、IPv4 ゲートウェイ、優先 DNS サーバーを設定します。



ネットワーク設定インターフェイス

---

4. **適用**をクリックして設定を保存します。
5. Eメールタブを選択してEメール設定インターフェイスを開きます。



E メール設定インターフェイス

---

6. 次のEメール設定を行います。

サーバー認証を有効化（オプション）:チェックボックスを選択してサーバー認証機能が有効にします。

　ユーザー名:SMTPサーバーに登録された送信者アカウントのユーザー名。

　パスワード:SMTPサーバーに登録された送信者アカウントのパスワード。

SMTPサーバー:SMTPサーバーIPアドレスかホスト名（例:smtp.263xmail.com）。

SMTPポート:SMTPポート。SMTPに使用されているデフォルトTCP/IPポートは25です。

SSLを有効化（オプション）:SMTPサーバーで必要であれば、SSLを有効化するチェックボックスを選択します。

送信者:送信者の名前。

送信者のアドレス:送信者のEメールアドレス。

受信者を選択:受信者を選択します。最大3人の受信者を設定できます。

受信者:通知を受けるユーザーの名前。

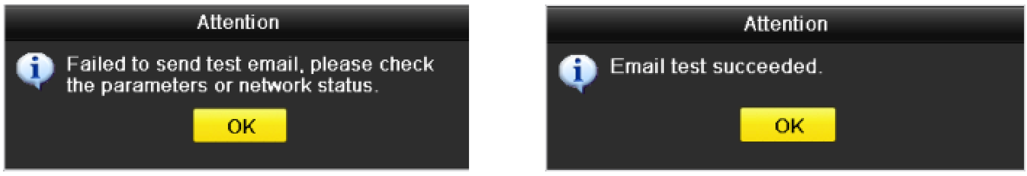
受信者のアドレス:通知を受けるユーザーのEメールアドレス。

添付画像を有効化:アラーム画像を添付してEメールを送信したい場合、**添付画像を有効化**のチェックボックスを選択します。間隔は、隣接する2つのアラーム画像の時間です。ここでSMTPポートを設定してSSLの有効化も可能です。

間隔:間隔は、2件の添付画像送信のアクション間の時間を示します。

7. **適用**ボタンをクリックしてEメール設定を保存します。

8. **テスト**ボタンをクリックしてEメール設定が機能しているかテストできます。対応する注意メッセージボックスが表示されます。



E メールテストの注意